

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

資金の範囲には、預金、未収金、未払金、預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

(2) 引当金等の計上基準について

退職給与引当金については、当法人の役職員が退職したことにより、当法人が当人に対し退職金を支払う義務が生じた場合、その費用にあてるものとして計上する。

修繕引当金については、当法人の基本財産としている建物及び付帯設備に修繕の必要が生じた場合、その費用にあてるものとして計上する。

山形ライオンズ基金については、「山形県ライオンズスポーツ賞」の顕彰等本県スポーツ振興のため特別の事業を遂行する必要が生じた場合、その費用にあてるものとして計上する。

2. 基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産積立預金	120,184,821	0	0	120,184,821
土地	140,000,000	0	0	140,000,000
建物	10,000,000	0	0	10,000,000
合計	270,184,821	0	0	270,184,821

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期末残高
普通預金	98,531,031	84,160,439
（一般会計）	(8,582,072)	(13,833,881)
（オリンピック募金特別会計）	(1,875,768)	(2,677,292)
（スポーツ振興募金特別会計）	(7,645,744)	(8,046,343)
（スポーツ振興積立金特別会計）	(80,427,447)	(59,602,923)
定期預金（スポーツ振興積立金特会）	438,230,000	212,000,000
国債（スポーツ振興積立金特会）		200,000,000
未収金（一般会計）	364,800	3,493,594
合計	537,125,831	499,654,033
未払金（一般会計）	1,076,776	6,127,153
預り金（一般会計）		1,032,806
合計	1,076,776	7,159,959
次期繰越収支差額	536,049,055	492,494,074